

公表: 令和4年3月31日

事業所名 ヨシア(スカイブルー)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	○			子どもが集中出来る ように机の向きなど 構造化を行って	利用人数や子ども同 士の関係性を考えて 時折見直しをしてい
	②	職員の配置数は適切であるか	○			人員配置基準を満た している。必要に応じ て個別対応も行って いる。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	○			1階なのと、階 段に手すりもある。	引き続き移動の際に 声を掛け合い安全に 配慮していく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			週に1回クラス会 議とマネージャー とのSVを行って いる。	個別に話をする機会 を増やしていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	○			IEPの面談に合 わせて、計画的 に実施できた。	法人全体で共有し、解 決策を考えていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	○				法人全体で公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげているか	○			外部からのコン サルを受けてい る。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	○			法人全体で朝研修 や、年数別研修など 計画的に行なわれて いる。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の方との面 談を通してIEPを作 成している。	
適切な支 援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	○			CSPに基づいて いる。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で担当を決 めて、その都度相 談しながら決めて	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	○			不登校児の安心のため 固定したスケジュール の中で季節に合わせた制 作や遊びを行っている。	引き続き公園のバリ エーションや設定遊び の内容を充実してい
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	○			子どもの学習段 階に応じて個別 に用意している。	引き続き子どもの意欲 を大事にしていく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画 を作成しているか	○			集団生活の中で、 発達や状況に合わ せた個別対応を 行っている。	個別や少人数が好き な子が多いので、職員 が間に入って集団に 慣れるように関わっ ていく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ の日行われる支援の内容や役割分担について 確認しているか	○			公園前のバディ確 認やボードで出入 りの共有をしてい	職員個人が必ず確認 するように徹底する。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			気付いたことを自分からFBするようにしている。	FBがない時は上司から聞くようにする。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日のうちに記録を取るように時間を調整している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1度行っている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			学習や外活動を取り入れている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				会議内容や情報をクラス全員で共有していく。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			ボードに記載し、全員で把握できるようにしている。	必ずボードを見るように徹底する。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			てんかん発作がある子に対する連絡体制を決めている。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			法人内で共有している。	就学後に利用し始めた子どもの情報は保護者から聞く。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	該当者なし	該当者なし
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			法人内で研修を受けている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		コロナの為他施設との交流はないが、事業所内で発達段階がバラバラなので様々な子どもと活動している。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			法人として参加している。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			積極的に会話や連絡を行なうようにしている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		機会は設けているが、参加者が少ないので呼びかけを強化していく必要がある。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				分からないことがあればいつでも聞いてもらえるように伝えていく。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				難しい相談には適切な助言が出来るようにマネージャーに確認しながら行なっていく。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				計画はしていたがコロナ禍で中止になってしまった。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				すぐにマネージャーに相談し、法人全体で対応していく。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月末に新しい月のお便りを発行している。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			鍵のかかる場所に保管している。	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			平易な言葉で言い直すなど工夫している。	
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				コロナ禍で難しかった。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			室内に掲示している。	いつでも見てもらえるように声を掛けていく。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月行っている。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎週水曜日に行なっている。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				IEPの同意の際に改めて伝えていく。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギー対応表を掲示している。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人内で行なっている。	小さな怪我や事故も積極的に報告し再発防止に努めていく。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。